

【申入書2】委任状および議決権行使書に関する不正疑義に対する調査体制 および責任放棄について

株式会社大京アステージ
代表取締役社長 真島吉丸様

2025年5月19日

ライオンズマンション稲沢管理組合
理事長 長谷川進

貴社よりこれまでにご回答いただいた「No.4 委任状への不正行為」および「No.5 議決権行使書を使った不正集計」に関する内容について、2025年5月18日開催の第33期5月定例理事会の審議結果に基づき、以下の通り重大な疑義を申し入れます。

【1. 調査対象社員への調査内容と結果について】

貴社はこれらの不正に関して、当時の担当社員である谷口氏、堀氏、鈴木氏に対して調査を実施したとされ、

「委任状および議決権行使書における不正記載はなかった」

と結論付けております。

しかしながら、その調査の具体的な方法・ヒアリング内容・記録の有無については一切説明されておらず、**第三者が検証可能な調査体制ではなかった**と受け取らざるを得ません。

とりわけ、以下の時系列に照らし合わせても、疑義は払拭されておられません。

- 2025年7月17日：総会出席・欠席（委任状及び議決権書）票の提出締切
- 7月17日：貴社鈴木氏が総会出席・欠席（委任状及び議決権書）票を回収し、委任状・議決権行使書における議決件数を仮集計）
- 7月18日：貴社鈴木氏が704号室鈴木理事長ポストへ投函（理事長への総会出席・欠席（委任状及び議決権書）票の受け渡しは一切行いません。提出期限締切後は例年貴社が保管）
- 7月20・21日：内海氏、篠原氏が訪問（この時点での総会出席・欠席（委任状及び議決権書）票の記載内容の変更は一切なし）

- 7月21日夜：鈴木理事長へ返却
- 7月27日：第32期通常総会（総会出席・欠席（委任状及び議決権書）票の変更が7名発生）

この間、回収・再配布・返却・再回収といった物理的な移動経路が複数存在し、その管理実態も不明瞭であるにもかかわらず、「不正なし」との結論に至った根拠が全く示されておりません。

【2. 第32期理事長・副理事長への調査を拒否した件について】

さらに、当該不正疑義には、当時の第32期理事長の関与があったことが交渉履歴および関係者証言により明らかであるにもかかわらず、貴社後藤支店長は

「管理会社として調査する立場にない」

との姿勢を示しました。

これは、管理委託契約上の善管注意義務を放棄し、組合運営の適正性に背を向ける姿勢であり、企業倫理上看過しがたい問題です。

【申入内容と要請】

つきましては、以下の項目について文書にて正式な再回答を要請いたします。

1. 谷口氏および堀氏、鈴木氏に対して行われた具体的な調査内容（質問項目、回答内容、実施日、記録有無）の詳細
2. 上記社員らが委任状・議決権行使書に関して、どのような取り扱いを実際に行ったのかを明記した事実確認報告書
3. 管理会社として、当時の理事長・副理事長の関与を調査対象としないという判断の根拠
4. 今後、同様の疑義が発生した場合に、管理会社としてどのように調査・報告義務を果たす方針か

これらの対応を怠る場合、管理会社としての組合ガバナンス維持機能が事実上機能していないものと評価せざるを得ません。

ご多忙の中と存じますが、2025年5月23日（金）までに再回答をいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。